

案件4 南旭ヶ丘町地域における既存タクシーを活用した実証実験の実施について

令和8年度 第3回
富田林市交通会議 資料4

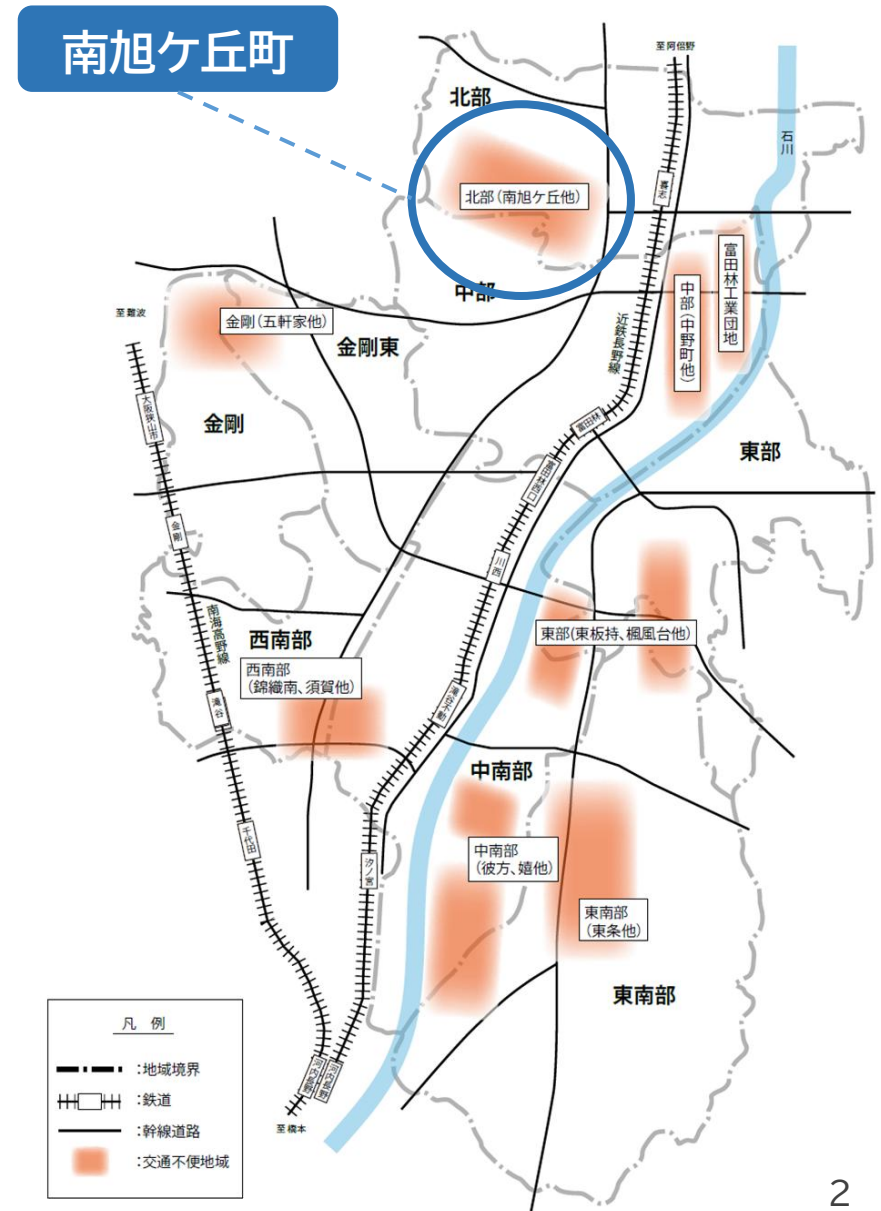
目次

- 1 南旭ヶ丘町地域とは
- 2 これまでの経過
- 3 既存のタクシーを活用した実証実験の概要
- 4 地域での利用促進策の検討について
- 5 今後のスケジュールについて

1 南旭ヶ丘町地域とは

- ✓ 主催:南旭ヶ丘町公共交通導入委員会
- ✓ 活動地域:南旭ヶ丘町
- ✓ 人口:967人(令和8年3月時点。以下同じ。)
- ✓ 世帯数:449世帯 高齢化率(※):34.2%
- ✓ 地域の特徴:鉄道駅やバスの停留所から離れている。

※高齢化率:地域の人口に対する65歳以上の高齢者が占める割合



2 これまでの経過

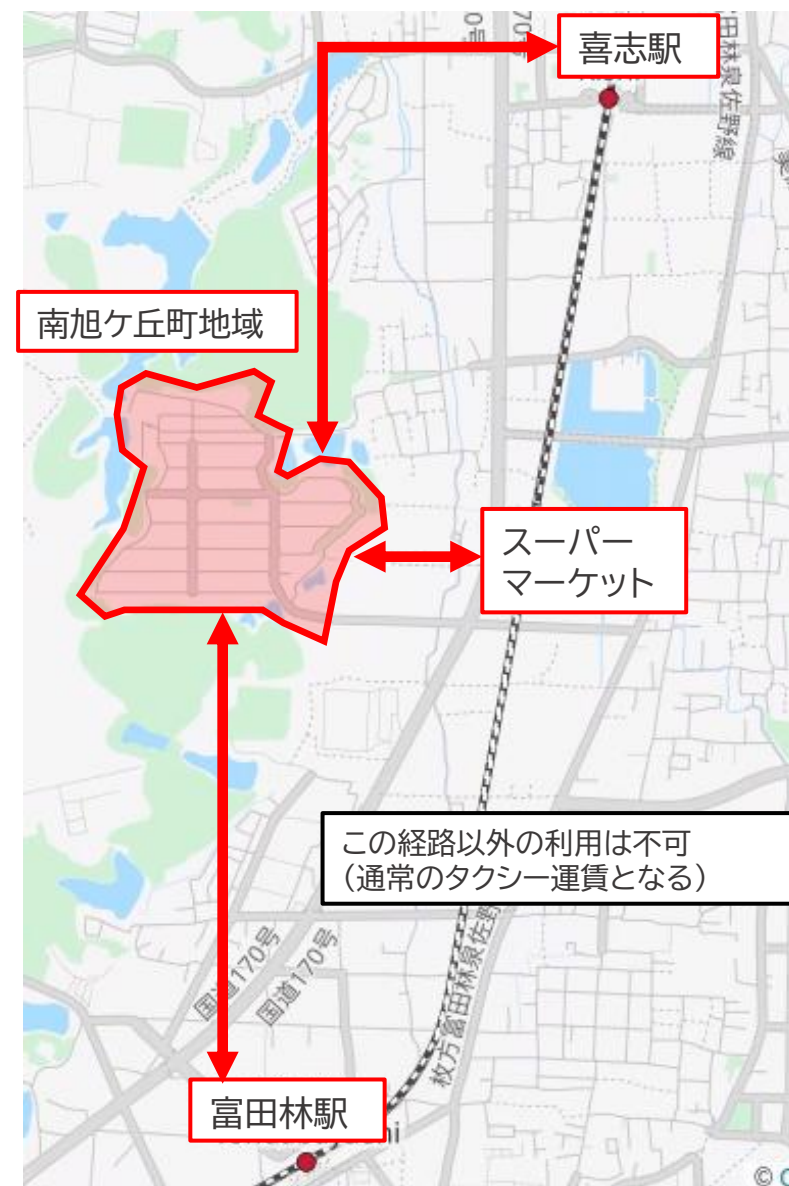
令和4年	10月	地域にて公共交通に関するアンケートの実施
令和5年	3月～4月	地域にて公共交通の勉強会の開催、及び「南旭ヶ丘町公共交通導入委員会」の設置
	5月～8月	委員会の会議を複数回開催
	9月	第1回勉強会(ワークショップ)を開催
	11月	河内長野市楠ヶ丘地域の乗合タクシー「くすまる」視察 公共交通に関するアンケート調査を実施
令和6年	7月	第2回勉強会(ワークショップ)を開催
令和7年	3月	実証運行計画(たたき台)の内容も含め、住民アンケート調査を実施
	4月～9月	住民アンケート調査の結果に沿った実証運行計画(案)のとりまとめ
	11月	実証運行計画(案)に対する需要の見極め及び機運醸成のため、既存のタクシーを活用した実証実験の実施を決定
令和8年	1月	富田林市交通会議で既存のタクシーを活用した実証実験(案)の承認
	2月	実証実験の開始に向け、機運醸成策の検討及び実施
	7月～	実証実験の実施に向け、南旭ヶ丘町会の住民に対し説明会を実施

3 既存のタクシーを活用した実証実験の概要

項目	内容
目的	既存のタクシーを活用した実証実験を行うことで、乗合タクシー（実証運行）に対する需要を見極め、乗合タクシーのさらなる機運醸成を図ることを目的とする。
利用方法	事前にタクシー券を配布する。支払い時にタクシー券を乗務員に渡すことにより、運賃を割引く方法（1回の乗車につき、1枚使用可能）
エリア	南旭ヶ丘町地域、喜志駅、富田林駅またはスーパーマーケットとの相互区間及び南旭ヶ丘町地域内の発着とする場合のみ適用
期間	令和8年9月20日（日）～令和8年11月19日（木）
時間	午前7時～午後7時
料金 （利用者負担額）	1人につき、大人300円（障がい者・小児は半額）

※ 上記の条件を満たさない場合は、適用外となる。

※ 今後、タクシー事業者との調整により内容が変更となる可能性がある。



実証実験エリア(案)

3 既存のタクシーを活用した実証実験の概要

■ タクシー券の利用方法



4 地域での利用促進策の検討について

地域では、当交通会議において実証実験(案)が承認された後、現在に至るまで、地域で工夫を凝らした以下のような取組を重ねてきた。なお、以下に示す取組のほかにも、地域の実情に応じた様々な努力が行われている。



利用促進策(1)

住民への説明会を複数回実施



説明会の様子

- ✓ 地域の町会の組織体制を生かした説明会を実施

協議会が中心となり、町会の班長に対し説明会を実施し、さらに班長以外の住民に対しても地区ごとに説明会を実施したことにより、高齢者含め誰もが参加しやすくし、丁寧な説明も行うことが可能となった。こうした取組を通じて住民の理解がより深まり、実証実験への関心や利用促進の機運醸成を図ることができた。

利用促進策(2)

分かりやすいタクシー券の作成

- ✓ 見やすいデザインに変更

タクシー券のデザインを変更し、一目で分かりやすいデザインに変更した。これにより、タクシー券に親しみを持ってもらい、使ってみようという意欲がわくことにより、利用が増えるような取り組みを実施。

4 地域での利用促進策の検討について

地域では、実証運行の乗車目標である**収支率30%（1日あたり75.6人）**の利用を目指し、様々な利用促進策を展開中。

利用促進策(3)

広報活動



実証実験の説明書



のぼり旗(イメージ図)

- ✓ 情報が届いていない住民への対応

実証実験の説明書について、デザインを変更し、一目で分かりやすいデザインに変更した。また、実証実験の資料は、全住民の目に触れるようにするため、役員が協力して全戸配布するほか、町内の掲示板付近などに実証実験をPRするのぼり旗の設置を検討しており、細かな情報発信を実施。

利用促進策(4)

Q&Aの作成

[illegible]

- ✓ 「使い方がよくわからない」といった声への対応

よくある質問や利用方法を分かりやすくまとめたQ&A形式の案内資料も作成し、住民が安心して利用できるように配慮を行った。

5 今後のスケジュールについて

	R8					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月～
説明会						
実証実験資料の作成・印刷						
実証実験資料の配布						
利用促進策の検討・実施						
実証実験			※1 			
結果の検証						

※1 実証実験は9月20日～11月19日の期間で実施

※2 スケジュールについては、関係者等との協議により変更が生じる場合がある。